

第1回部会の御意見を踏まえた追加資料

○ WITHコロナ・POSTコロナ社会への対応

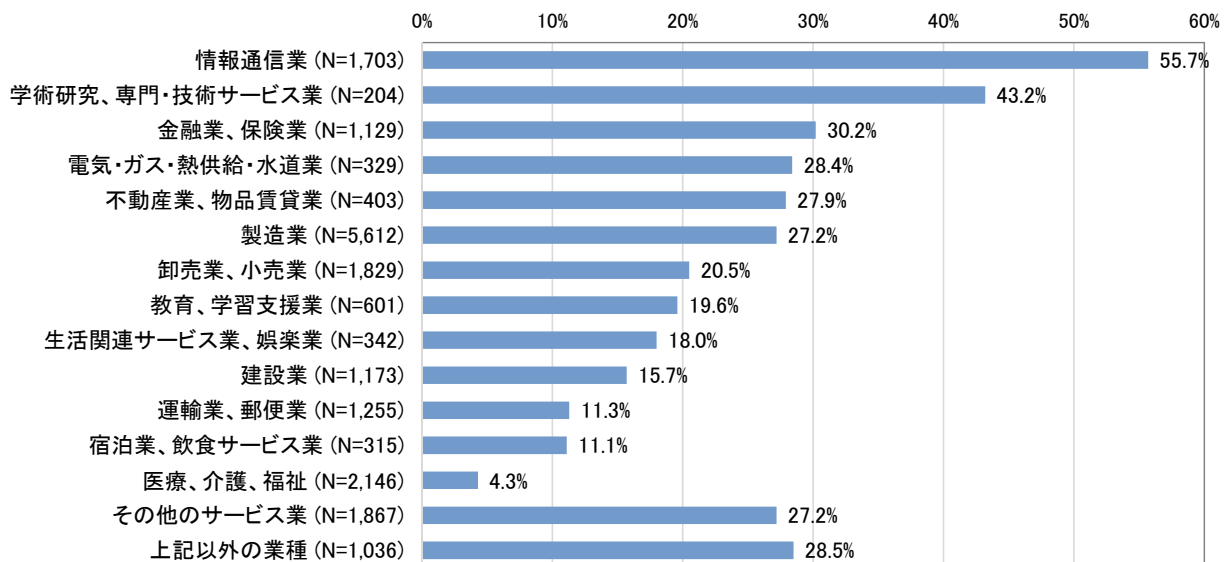
5 住宅の間取りと職業の関係

- 委員御意見：個室需要の増加など、室利用のあり方が変化しているが、間取りと職業の関係を示すデータはあるか。

業種・職種別テレワーク実施率（全国）

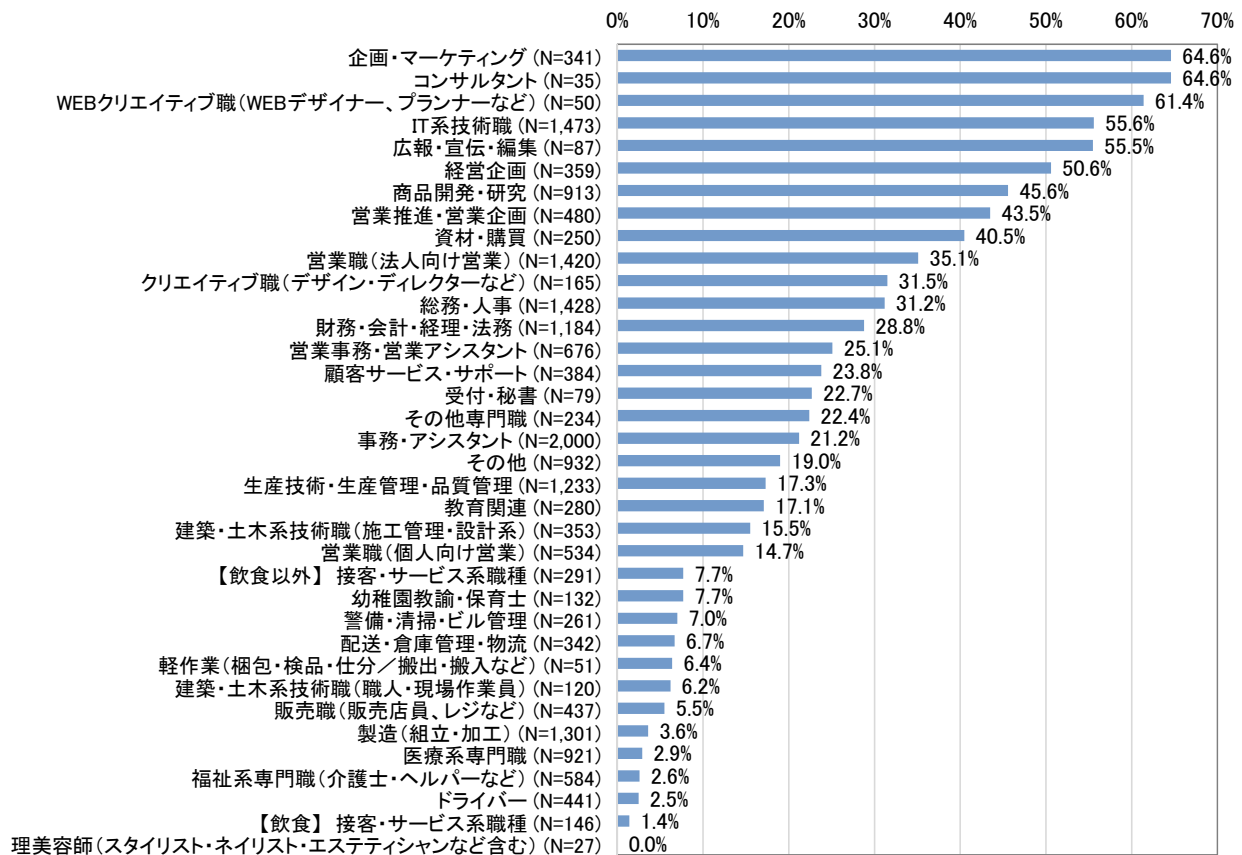
業種では「情報通信業」や「学術研究、専門・技術サービス業」、職種では「企画・マーケティング」や「コンサルタント」等でテレワーク実施率が高くなっている。

- 業種別テレワーク実施率（調査時期：2020年11月、正社員のみ）



資料：第四回・新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査（パーソル総合研究所）

● 職種別テレワーク実施率 (調査時期: 2020年11月、正社員のみ)

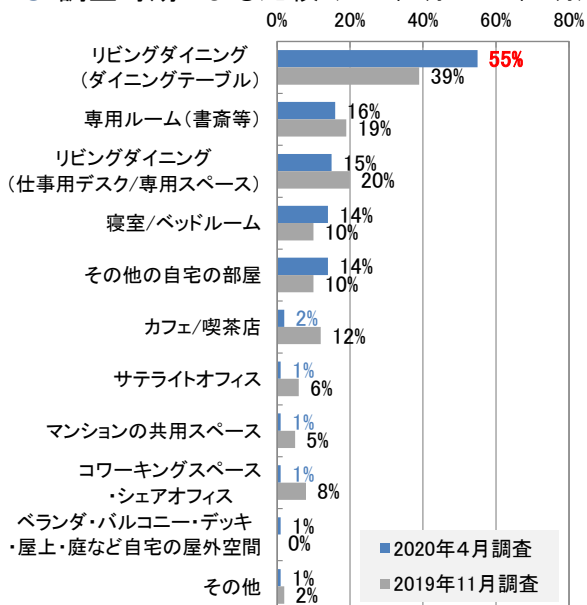


資料: 第四回・新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査 (パーソル総合研究所)

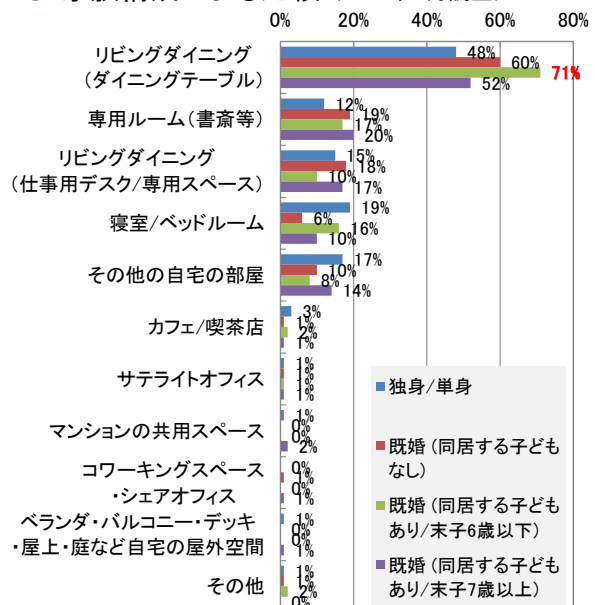
テレワーク実施場所 (調査地域: 関東1都8県)

- ・テレワーク実施場所はリビングダイニング (ダイニングテーブル) が55%と最多であり、家族構成別に比較すると、6歳以下の子どもと同居する既婚者で71%と最も割合が高い。
- ・新型コロナ感染拡大前 (2019年11月時点) と比較すると、カフェ/喫茶店やサテライトオフィス等の自宅専用部以外での実施は減少している。

● 調査時期による比較 (2020年4月と2019年11月)



● 家族構成による比較 (2020年4月調査)



(注1) 全仕事量の内、テレワークで実施している割合が10%以上の回答者を集計
 (注2) 上位2箇所までの複数回答 (注3) 各数値は小数点第一位での四捨五入値

資料: 「新型コロナ禍を受けたテレワーク×住まいの意識・実態」調査 (リクルート住まいカンパニー)